



“官民を超える対話力・行動力を身に付けよう” ～ミズベスクール6を加古川市と共に開催～

R5.1.27

河川部河川環境課

ミズベリングの取り組みの一環として、水辺と街を繋ぐ活動を進めている加古川市をフィールドに「ミズベスクール6」を加古川市と連携し開催しました。

当日は、行政や市民等が参加し、加古川河川敷で活動されている方々に、様々な課題や利点についてインタビューし、今後のかわまちづくりに活かしていくこと学びました。

- 開催日時：令和5年1月27日（金）10:00～17:00
- 場所：加古川市民交流ひろば（カピル21ビル 5階）

《プログラム》

- ・水辺と水辺につながるまちなかの現地視察
- ・トークセッション
- ・市民団体グループインタビュー
- ・インタビューのとりまとめ、発表

《協力いただいた市民団体・事業者》

- ・NPO法人シミズシーズ 阪口 氏
- ・一般社団法人きずな 小林 氏
- ・加古川スケートボード協会 樋口 氏
- ・green walkers 小谷 氏
- ・株式会社ムサシ 岡本 氏

《参加者数》

41名
※ミズベスクールとは…水辺の活用に興味を持つ市民や企業、行政が一室に集まり、河川空間の利用制度、プロジェクトの立ち上げや活用のコツを実施者から学んだうえで、持続可能な水辺の賑わいづくりに向けて語り合うイベントです。



ミズベリングイベント恒例 川ろうぜ！集合写真

《参加者の感想》

- ・加古川の水辺活用を行う上での、国・市・市民団体等の関わりについて詳細に話を聞くことができ、立場を超えて対話すること、共に行動することを大切さを学んだ。
- ・官民間わず会話をすること。自己完結してしまうのではなく、縦にも横にもつながりを深めることが大切だと感じた。

オープニング・挨拶

現地視察



開催地挨拶
加古川市 岡田 市長

ファシリテーター
水辺総研 岩本 氏

加古川河川敷やそこにつながるまちなかでの取組、市民団体との関わりを視察・取材しました。

トークセッション



『ミズベリングやかわまちづくりをやろうと思った動機は？』『自治体の方々がやる気になったのはどうして？』などをテーマにし、行政の取組みや思いをディスカッションしました。

登壇者
姫路河川国道事務所
春藤 総括保全対策官

登壇者
加古川市 市民活動推進課
山野 担当課長

加古川市
市民活動推進課
ミズベリングかこがわチーム！

グループインタビュー

インタビューとりまとめ・発表

閉会



加古川河川敷やまちなかで賑わいを取り戻す取組に参加する団体に参加して頂き、リレー方式でのインタビューを通じて、対話の能力を磨きました。

加古川河川敷やまちなかの取組・官民の関わりについて「見て、聞いて、感じた」結果をグループでまとめて、グループ毎で発表を行い、官民連携で水辺を活用する上で大切なことは何かを学びました。

近畿地整
竹中
広域水管理官

加古川市
中田
副市長

